

平成26年 9 月 青葉区議員団会議 会議録

開催日時	平成26年9月5日(金) 午後 4 時30分から午後 5 時30分まで
場 所	青葉区役所 4 階特別会議室
出席者	<p>【議 長】 菅野義矩議員</p> <p>【議 員：8名】 赤野たかし議員、内田美保子議員、大貫憲夫議員、行田朝仁議員、小島健一議員、藤崎浩太郎議員、丸岡いつこ議員、山下正人議員、横山正人議員、若林智子議員</p>
	<p>【説明局員】 (青葉区：30名)</p> <p>徳江雅彦 区長、大野敏美 副区長、勝島聡一郎 福祉保健センター長、小嶋哲夫 福祉保健センター担当部長、楨重善 青葉土木事務所長 ほか関係職員</p> <p>(道路局：3名)</p> <p>上野 企画課計画調整担当課長、山形 企画課交通計画担当係長 ほか関係職員</p>
次 第	<p>報告事項</p> <p>1 「横浜青葉スポーツ広場」代替施設整備について</p> <p>2 平成26年度青葉区区民意識調査の結果について</p> <p>3 市が尾駅周辺地区バリアフリー基本構想の検討について</p> <p>4 青葉区玉川学園台地区のバスダイヤの改正（地域交通サポート事業）について</p>
報告事項 1	「横浜青葉スポーツ広場」代替施設整備について
発 言 の 要 旨	横山議員 使用できる種目の想定は。
	室谷区政推進課長 少年野球、少年サッカー、ゲートボール、グラウンドゴルフ、その他多目的の使用を想定している。
	横山議員 屋外スポーツ全体がいいという形になるのか。
	室谷区政推進課長 現行のスポーツ広場で行われているものはだいたい行える想定である。
	横山議員 利用調整や優先利用についてはどう考えているか。
	室谷区政推進課長 現行のスポーツ広場の利用方法を基準に考えている。現行のスポーツ広場は、半分を体育協会等の大会等で優先利用し、残りを抽選により使用していただいている。
	横山議員 優先枠については現行のとおり体育協会加盟団体に優先利用させ、残りの部分については公開抽選するということでしょうか。
室谷区政推進課長 代替施設は20周年記念事業として整備をしており、区民の方から多額の寄附をいただいているということもあり、公開抽選による利用団体については、一定の割合で区民の方が団体に入っていることを条件とする等、区民の方々にご利用いただけるような形を考えていきたい。	

発言の 要	山下議員	仮設トイレを設置するということだが、管理棟の中にトイレを作る予定はないのか。
	室谷区政推進課長	本設の管理棟の中にトイレを作る予定で、管理棟が出来るまでの間、仮設トイレを利用させていただく。
	山下議員	出入り口は現行の南側の出入り口と一緒ということか。
	室谷区政推進課長	管理棟が出来る北側に立水栓があり、帰りにそこで車の泥を取っていただくことを想定すると、管理棟側に新たな門を作ってそこから出入りしていただくのが適当と考えている。
	山下議員	駐車スペースは何台程度の設定を考えているのか。
	室谷区政推進課長	車の駐車スペースとして転圧してご用意するのは、管理棟予定地の南側の部分を考えている。 また、現行のグラウンド利用でも同様だが、野球で利用される場合では外野部分にも駐車しており、そのような方法についても考えたい。
	赤野議員	寄附をされた方に感謝の意を表すプレートのようなものを設置する考えはあるか。
	室谷区政推進課長	グラウンドを整備した趣旨やご寄附いただいた方のお名前などを記したものを、広場内の適当な場所に設置したいと考えている。
	藤崎議員	近隣住民へのご案内はこれからだと思うが、これまでは一切説明はしていないのか。
	室谷区政推進課長	近隣の方へ個別にご説明はしていないが、連合自治会や地域の町内会にご説明しており、そこを通して説明はされていると理解している。
	藤崎議員	9月中に行われる近隣住民へのご案内というのは、これまでと同様に個別ではなく自治会等を通じて行われるのか。
	室谷区政推進課長	工事が開始されるので、グラウンド周辺の方々にはチラシのポスティングで対応したい。 荏田西二丁目エリアの住民の方々には回覧する予定。
	藤崎議員	今のところ基本的に反対の声はないということでしょうか。
	室谷区政推進課長	そのように考えている。
	藤崎議員	周辺環境が変わる部分もあると思うので、後から聞いていなかったという声が出ないようにしっかり対応してほしい。 それから、既存の利用者の方々とは調整してご理解をいただいているということでしょうか。
室谷区政推進課長	現行の青葉スポーツ広場の運営委員会からご説明いただき、今回整備する代替施設以外のグラウンドの利用についても調整していただいていると聞いている。	

発言の旨	藤崎議員	区内でスポーツをする場所が減っている中で区民のみなさんもお苦勞なさっている。 地区の方がみなさんご満足いただけるように取り組んでほしい。
	大貫議員	駐車場の件だが、グラウンド内のどこに車を停めるのか。車を入れることでグラウンドがでこぼこにならないか心配だが、その点はどうか。
	室谷区政推進課長	管理棟予定地の南側の通路転圧と書いている部分を、車を停めても傷まない駐車スペースとして整備する。ここには5台からきっちり停めれば10台程度駐車できると考えている。
	大貫議員	応援団などが来たときには周辺にも車が駐車したりしないか心配だが、そのあたりはどうするのか。
	室谷区政推進課長	練習の時には外野部分等に停めていただくことを考えている。また、大会等で多数の車が集まる場合には、荏田西三丁目のグラウンドが付近にあるため、そちらを駐車場に充てることも考えたい。
	大貫議員	グラウンドの西側に家があるが、まったく隣接しているので、この方々に対しては個別に相談しているのか。
	室谷区政推進課長	整備予定地は現在もグラウンドとして開放されており、整備後も利用形態としては変わらないため、個別に訪問してのお話しではなく、自治会を通しての一般的なご説明をしている。 今回、工事にあたっては個別にお知らせを投函させていただき、必要に応じて区等からお話しさせていただきたいと考えている。
	大貫議員	今までも開放していたのだからそのままでもいいだろうなどと考えずに、丁寧に対応してほしい。
	横山議員	先ほど感謝の意を表す銘板という話があったが、グラウンドの名称について寄附者に1年間ネーミングライツを提供し、2年目からは対価を頂くということも考えてみたらどうか。
室谷区政推進課長	ネーミングライツについては考えていなかったが、地域の方々や内部で相談させていただきたい。	
報告事項2	平成26年度青葉区区民意識調査の結果について	
発言の旨	山下議員	回答率の49%というのは、統一地方選挙の青葉区の投票率と変わらない。また、地域活動に参加している方の割合は41%。これらの数字を高いと見ているか、区長の感想を伺いたい。
	徳江区長	一般的なこういった調査としては高い方だと思う。ただ、本当はもう少し多く答えが寄せられるのが望ましく、そのためには我々の工夫の仕方もあるかもしれないと考えている。

発言の旨	山下議員	<p>区民意識調査で住民の望む姿が見えてくると思う一方で、予算編成上の限界等、区長も色々と感じるところがあると思う。</p> <p>青葉スポーツ広場の代替施設整備ひとつにしても非常に苦労されている。</p> <p>30万区民の思いを充実するのに区長としてもジレンマがあるのではないかとと思うが、どのように考えているか。</p>
	徳江区長	<p>青葉区役所が区民の期待により応えていくためには、まずは区民意識調査等で把握した区民の期待や要望を局の事業の中に反映させていく努力が求められる。</p> <p>もうひとつは、これからの区のあり方として、区自身が身近に感じていることを実現する力をもっと高めていく、その二つが必要だと考えている。</p>
	横山議員	<p>区の広報テレビ番組やラジオを視聴していない人が9割近くいる。その人達がどういう形で青葉区の情報を入手しているかという、期待したい広報媒体として広報よこはまの青葉区版を挙げている。</p> <p>青葉区はインターネットの普及率が高いにも関わらず、紙媒体を要求してきていて、逆に、ウェブサイト充実させてほしいという声は25年度に比べて落ちているのが非常に興味深い。</p> <p>「今後力を入れてほしい広報媒体」について、50%の人が広報よこはま青葉区版を挙げている。これは、中身とボリュームの充実を求めていると考えるが、青葉区だけページ数を増やすといったことは出来ないのか。</p>
	室谷区政推進課長	<p>通常8ページのところを12ページと、他区よりページ数を増やす月を設けている。</p>
	横山議員	<p>半数の人達が紙媒体の充実を求めているというのは大きな数字だと思うので、検討してほしい。</p>
	藤崎議員	<p>回答者の年齢や性別といった属性の年度ごとの動向について把握したり、活用の際の材料としたりしているのか。</p>
	室谷区政推進課長	<p>経年変化については、クロス集計の細かい中身ではできていないが、単純集計レベルでの比較ではそれほど大きな変化は見られない。</p>
	藤崎議員	<p>我々議員個人では、なかなか解析や分析ができない。</p> <p>クロス解析をした上での経年変化も載せていただくよう要望したい。</p>
	行田議員	<p>喫煙に関する設問が以前はあった記憶があるが、今回はなくなっている。なにか意図があるのか。</p>
	室谷区政推進課長	<p>喫煙については過去何回か調べた結果、大きな変化が見られなかったため、設問数が限られた中で今回は質問項目から割愛した。</p>
	若林議員	<p>回答者の属性と回答の傾向には相関性があると思うが、30代と30代未満の回答率がガタッと落ちている。</p> <p>設問分野やアンケートの実施方法等、若い方の回答率を高めていく方策があると思うがどう考えているか。</p>
室谷区政推進課長	<p>区民意識調査を過去に遡っても、市民意識調査等の他の調査でも、若い方の回答率が低い傾向にある。</p> <p>若い方の回答をどのように引き出すか、今後検討したい。</p>	

発言の旨	大貫議員	映画館や劇場が駅の周辺に不足しているという回答は、渋谷や横浜に行かなければ文化に触れられないという青葉区民らしい思いが出ている。 区民意識調査の結果は当然区政に生かしていかなければならないが、区役所の中でどのように生かしていくのか。
	徳江区長	具体的に次の予算に反映できるものはするということ考えている。 例えば、がん検診については、未受診の方のご意見として受診の仕方がわからないという声があったため、受診方法を盛り込んだチラシを作り配付したところ受診率が向上したということがあった。 また、乳幼児の一時預かりの需要が非常に高いということも調査の結果わかり、青葉区では他区より多く3か所で実施できるようになったということもある。
報告事項3 市が尾駅周辺地区バリアフリー基本構想の検討について		
発言の旨	内田議員	急な坂や大きな横断歩道など危険個所がいくつかあると思うが、現段階で注目している箇所にはどのような所があるか。
	上野道路局企画課計画調整担当課長	1回目の地区部会で出た意見として、市が尾駅から青葉区役所に来る経路として国道246号線の歩道を利用する方が多いということで、それを特定経路に入れるべきという声があった。 また、おさかな広場へ向かう経路には国道をまたぐ陸橋があるが、エレベーターの設置が可能かについても、国道の管理者と調整しながら研究していきたい。
	内田議員	駅から区役所や公会堂まで距離感がある。高齢者だと余計にそう感じるだろう。距離感を縮めるためにはスムーズな移動が大事である。
	赤野議員	例えば藤が丘の病院施設など、医療機関の周囲に意外に段差があり車椅子では通りづらいという意見もある。 そういった施設にも注目して道路整備を考えてほしい。
	大貫議員	まち歩きは誰がどのように行うのか。
	上野道路局企画課計画調整担当課長	連合町内会長や地域の自治会の方も入っている地区会の委員、関連施設の方、障害者施設の方、また出来れば車椅子をご利用の方に来ていただき、実際に経路を歩いて点検していただく。
	大貫議員	この構想には駅舎も含まれているのか。
	上野道路局企画課計画調整担当課長	駅舎については公共交通特定事業に位置付けられる。また、市が尾駅には大きなバスターミナルがあるが、そちらも含めて検討していく。
発言の旨	大貫議員	駅のホームドアは非常に大事だから是非考えてほしい。 まちづくりの中で東急の責任もあるわけだからきちっと協力してもらいたい。 駅から国道246号線を通って区役所に行くとき、改札口を出て左に行くと階段がある。数段しかないがみなさん大変な思いをしてカートを上っている。いい機会なので是非見ていただきたいと思う。
報告事項4 青葉区玉川学園台地区のバスダイヤの改正（地域交通サポート事業）について		

<p>発言の旨</p>	<p>(特になし)</p>
<p>その他 (市会ポスター、デング熱対策について)</p>	
<p>発言の旨</p>	<p>山下議員 去年から横浜市会は変わったポスターを作っている。議会事務局には貼りたくないという電話も来ているようだが、青葉区でご批判の声はあるか。</p>
<p>発言の旨</p>	<p>徳江区長 区役所庁舎内に貼りだしてまだ期間がないからかもしれないが、今のところ区民の方からそういった声は聞いていない。</p>
<p>発言の旨</p>	<p>横山議員 デング熱について、横浜市は公園でのサーベイランスを行っているとのことだが、青葉区内の公園でのサーベイランスは実施しているのか。</p>
<p>発言の旨</p>	<p>佐々木生活衛生課長 青葉区では公園ではなく区庁舎の敷地内でサーベイランスを行っている。</p>
<p>発言の旨</p>	<p>横山議員 なぜ区庁舎で行っているのか。蚊は捕まるのか。</p>
<p>発言の旨</p>	<p>佐々木生活衛生課長 過去に寺家のほうで行っていたこともあるが、公園に限らず蚊のいそうな場所あるいは人の集まる場所で実施するというので、現在は区庁舎の敷地内で行っている。 蚊はそれほど多くはないが捕まっている。</p>
<p>発言の旨</p>	<p>横山議員 サーベイランスの結果、横浜市内での現在の状況はどうかになっているのか。</p>
<p>発言の旨</p>	<p>佐々木生活衛生課長 調査自体は平成15年度から始まっている。現在ではウエストナイル熱、デング熱、日本脳炎、チクングニア熱の感染症についても検査を実施しているが、これまでどのウイルスも検出したことはない。</p>